

# 西浦マーケット

ほくの住む町には海があり、たくさんのお魚が採れる。

だから毎年、ほくは海へ魚を捕りに行く。

けれど、毎回捕れるわけではない。

あるとき、おばあちゃんが言った。

「西浦マーケットに行けばいいやん。新鮮でどうまい魚がたくさんあるで。」

西浦マーケット知ってるか？」

ほくはおじいちゃんがよく通っていた西浦マーケットは知っていたけど、行ったことはなかった。

朝5時に行かなくてはならないからだ。

朝の苦手な僕にとって5時前に起きることは、しんどすぎる。

けれど、魚好きのほくは気合を入れて、早起きに挑戦した。

朝4時半、ほくの目はなかなか開かないまま、お母さんの車に乗った。

西浦マーケットに着くと

魚、貝、カニ、エビ、ワカメ・・・すごい種類の魚介類！！

僕の目は一瞬で目玉が落ちそうなくらい開いた。

そのとき、お母さんが「きゃっ！」と声をあげた。

近くに行ってみると、ナミ貝が砂を吹いて、お母さんのうでにかけていた。

周りを見ると、他の魚もバタバタ、くねくね、ピュッピュッと動いている。

生きている魚介類に興奮した。

そして、一つひとつ魚たちを見ながら歩き回った。

めひかり あさり 鳥貝 コウイカ きんぎ 車エビ シャコ がざみ

タカアシガニ カサゴ このしろ、ほくの好きなものばかり・・・

普段、海でなかなか取れないし、スーパーでも高くてなかなか買えない魚たち

それが、スーパーよりも安い！！

ほくは我を忘れ、マーケットの中を歩き回った。

何を買おうか考えて、考えて、迷って、考えた。

めひかり、タカアシガニ、アサリを買ってもらった。

家に帰ってから、お母さんと僕で調理した。

めひかりのからあげ

タカアシガニの蒸し焼き

アサリの味噌汁

家の中が海の香りになる。

この瞬間がいとおしくてこころしい。

朝ご飯「いただきます！！！！」

家中にひびき渡る声で言ったら最高の瞬間がおとすれる。

めひかりの外はかりかり

中はふわふわ

タカアシガニの肉はプルプル

中身ギッシリ。

アサリのだいで、香りがほわほわ立ち上り

ほくの五感を刺激する。

「これもどうまい！！！！」

と叫んでしまうくらい。

おばあちゃんに教えてもらってよかった。

がんばって早起きしてよかった。

おじいちゃんがちよくちよく行く理由もわかったよ。

ほくのお腹はパンパンになり、心も満たされ大満足。

それからほくはときどき西浦マーケットに行っている。

季節によって変わる海の生き物たちを見て、

音を聞いて、においをかいで、雰囲気を感じる。

どれを買おうかな？

西浦で育って幸せだな、と感じる瞬間。

ほくのお腹も心も五感も満たしてくれる場所。



蒲郡市立西浦小学校 六年

尾崎安吾

絵 damacco